

# 今こそ省エネ！プラスアクション

## ～県民・事業者の皆様へのメッセージ～

令和4年6月10日  
長野県ゼロカーボン戦略推進本部

今夏の電力需給は、国内外のエネルギーを巡る情勢変化を踏まえ、非常に厳しい見通しが示されています。\*  
加えて、長期化が懸念されるエネルギー価格高騰への対策や 2050 ゼロカーボンの実現のためにも、これまで以上の省エネの取組が必要です。

県民の皆様、事業者の皆様には、電力需給のひっ迫が予想される9月までの間、「今こそ省エネ！プラスアクション」として徹底した省エネの取組への協力をお願いします。

\*安定供給に最低限必要な予備率3%に対し中部エリアの7月の予備率は3.1%（「2022年度の電力需給に関する総合対策」から）

### 取組期間

令和4年6月10日（金）から令和4年9月30日（金）まで

### 目標

エネルギー消費量 **対前年 3%削減**

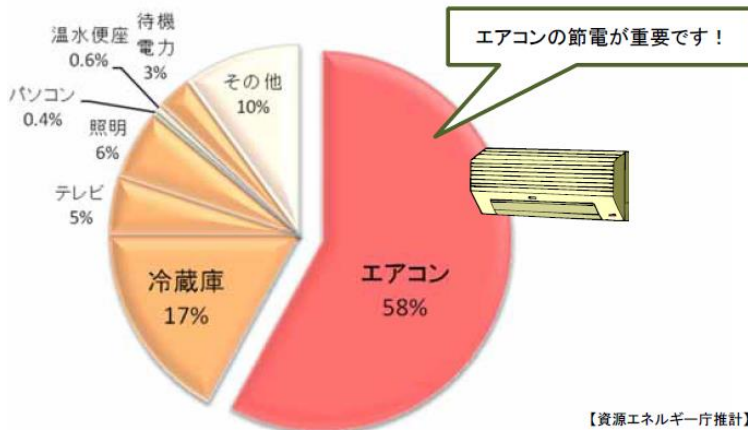
### プラスアクション

- エアコン（空調）は室温「28℃」に設定  
⇒ 設定温度を1℃上げることにより、約10%の節電
- 省エネ設備・家電への転換  
⇒ 省エネ設備・家電への切換えや再エネ設備の導入により、中長期的にエネルギー消費量を削減  
（県は事業者向け省エネ・再エネ設備の導入支援、家庭向け省エネ家電の購入支援を予定）
- 移動手段の見直し  
⇒ マイカーから公共交通機関、徒歩又は自転車への転換や相乗り等により、ガソリンを節約

など

### 夏の電力使用の特徴

夏の昼間（14時頃）の電気機器の使用例



## 具体的な取組

### 家庭

**照明**：LED 照明への買換え

**エアコン**：室温 28℃に設定、すだれや緑のカーテンなどで窓からの日差しを和らげる

**冷蔵庫**：庫内の温度を「高」から「中」に変更、ものを詰め込みすぎない

**テレビ**：画面が明るすぎないよう輝度を「最大」から「中」へ

**その他**：使わない機器の電源を切る（長時間使わない機器はコンセントからプラグを抜く）、消費電力の大きい製品(アイロン、ドライヤー、電子レンジ等)を同時に使用しない、契約アンペアの見直し

### うちエコ診断の実施 →

平均的な家庭と比べながら、各家庭の省エネ・光熱費等を診断する WEB サービス



### 事業者

**空調**：室温 28℃に設定、使用していないエリアの空調停止、ブラインド・すだれ等の活用

**照明**：LED 照明への転換、作業に適した照度（事務室は 500 ルクス程度）に設定、使用していないエリアの消灯

**OA 機器**：長時間離れるときは電源を切るかスタンバイモードに、画面の輝度を 40%に設定、退社時のプラグ抜き徹底

**生産設備等**：コンプレッサの吐出圧力・吸気温度の見直し、適切・定期的なメンテナンス

**その他**：デマンド監視装置等の導入・活用、環境マネジメントシステムの運用、事業活動温暖化対策計画の策定

### 県機関

**照明**：LED 照明への転換、人感センサーの導入、使用していない場所（コピー室等）の消灯、昼休みの完全消灯、照明スイッチの見える化、照明の間引き、適切な照度（500 ルクス程度）の設定

**空調**：室温 28℃に設定、不必要エリア（未使用の会議室等）の空調停止、緑のカーテン・ブラインド等の活用、給排気ファンの風量調整

**OA 機器**：省エネモードに設定、長時間離れるときは電源を切るかスタンバイモードに、画面の輝度を 40%に設定、退庁時のプラグ抜き徹底

**その他**：エレベータ運転台数の制限（職員は階段使用）、デマンド監視装置の導入・活用（警報発生時に緊急対策を実施）、定時退庁の励行、サマーエコスタイルの推進、夏季休暇の完全取得、年次休暇の取得促進

**企業局発電**：電力がひっ迫しやすい時間帯（16～19 時）にダム式発電所を運転